

講演会報告

慢性の痛みの理解と診療体制の構築に向けて「慢性の痛みについて」

「慢性疼痛はどういう病態なのか」「慢性疼痛にはどんな治療が有効なのか」に関しては、まだ十分に解明されていない部分も多くあります。まずは慢性疼痛に対する理解を広げていただくために慢性疼痛理解のための講演会を開催しました。Zoom・ウェビナーの機能を使用して、76名の方にご参加頂きました。前事業と比較し、医療従事者のみならず介護現場の方からのお申し込みが増えた結果となりました。

令和2年度 厚生労働省 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業

慢性の痛みの理解と診療体制の構築に向けて
講演会のお知らせ **参加費 無料**

慢性の痛みについて

組織損傷は治っているのに、痛みが続く…
こんな慢性の痛みで苦しんでいる患者さんの診断と治療について
の診断、どのよう「動機」するのをお話します。

講師 山内 正憲 先生

講演1 慢性の痛み：診断と病態について
秋田大学大学院医学系研究科医学専攻
麻酔科・疼痛科 准教授 木村 哲 先生

講演2 慢性の痛み：治療法について
福島県立医科大学医学部整形外科 准教授 矢吹 省司 先生

日程 令和2年 11月8日(日) 10:00 - 12:00

Zoom開催
東北地方の医療従事者、福祉、介護職、その他慢性疼痛に関わるすべての職種

申込方法
https://forms.gle/ZAHVJLXEN3eMdyb
11月6日0時までに申込みをお願いします。

申込先
公立大学法人 福島県立医科大学医学部疼痛科 総務・商標
TEL & FAX 024-547-1987 / E-mail kotumage@mju.ac.jp

慢性の痛みの理解と診療体制の構築に向けて「慢性の痛みについて」参加者

| 県別 | | 職種別 | |
|--------------|----|--------|----|
| 青森 | 10 | 医師(合計) | 27 |
| 岩手 | 4 | 麻酔 | 3 |
| 秋田 | 12 | 歯科 | 1 |
| 山形 | 7 | 総合診療外科 | 1 |
| 宮城 | 17 | 産婦人科 | 1 |
| 福島 | 24 | 記載なし | 21 |
| 京都府 | 1 | PT | 24 |
| 記載なし | 1 | OT | 8 |
| 合計 | 76 | 看護師 | 8 |
| | | 薬剤師 | 2 |
| | | 柔道整復師 | 2 |
| 参加施設数 | | 医学生 | 1 |
| 医療機関 | 38 | 検査技師 | 2 |
| 介護施設 | 9 | 言語聴覚士 | 1 |
| 整体院など(医療外) | 2 | 歯科衛生士 | 1 |
| 訪問リハビリステーション | 1 | 合計 | 76 |
| 所属なし | 1 | | |
| 合計 | 51 | | |

慢性疼痛症候群
日常生活の破綻をもたらす
「疼痛行動 (Pain Behavior)」からなる症候群

| 典型的な疼痛行動 (症候) | 疼痛行動に伴う精神障害 |
|----------------------------------|-------------|
| ドクターショッピングや検査を好み、どこまでも痛みの原因を追究する | 抑うつ、不安 |
| 痛み緩和の方法に過剰に期待する | 将来への恐れ |
| 痛みで固執し周囲から孤立する | 自尊心の低下 |
| 睡眠パターンが崩れる | 無力感や絶望感 |
| コミュニケーションがとれない | 希死念慮 |

慢性疼痛診療ハンドブック p.10 より引用・改変

CQ 5 腰痛に患者教育と心理行動アプローチ (認知行動療法) は有用か

| 推奨度 | エビデンスの強さ |
|-----|----------|
| 2 | C |

腰痛患者に対して、患者教育と心理行動的アプローチは有用である

推奨の強さ

1. 行うことを強く推奨する (提案する)
2. 行うことを弱く推奨する (提案する)
3. 行わないことを弱く推奨する (提案する)
4. 行わないことを強く推奨する